

『何冊読めるかな？長い夜のおともに』

～おとなの課題図書 2024～

図書館員からのお薦めの図書です。

本は、どんなときも様々な世界への扉を開きます。

〔三島市立図書館 コメント一覧 全27冊〕

1 昭和の法律家たち

- ①『三淵嘉子と家庭裁判所』 清永聡／編著 日本評論社 289.1 ム
昭和初期の激動の時代、法曹界もまた大きな波に翻弄され続けました。朝ドラ「虎に翼」のヒットにより、今まであまり知られていなかったこの世界に関心を持つ人が増えたようです。「家庭裁判所物語」などとあわせ、この機会にぜひこちらの本をご覧ください。
- ②『われ判事の職にあり山口良忠』 山形道文／著 出門堂 327.12
- ③『日本の近代猪瀬直樹著作集 8 昭和16年夏の敗戦』 猪瀬直樹／著 小学館 081.6

2 北欧ミステリ

- ①『氷姫(エリカ&パトリック事件簿1)』 カミラ・レックバリ／著 原邦史朗／訳 集英社 949.83 レ
『ミレニウム』や『特捜部 Q』などが大ヒットした北欧ミステリーは、欧米とも違う社会や文化、そして独特の空気感や薄暗い雰囲気、どれも新鮮で私も惹きつけられた一人です。このシリーズは11巻ありますが、没頭して読み進めることができるので心配いりません。読後の満足感もひとしおです。ぜひ北欧ミステリーにはまってください。
- ②『赤い夏の日』 オーサー・ラーソン／著 松下祥子／訳 早川書房 949.83 ラ
- ③『ルミッキ』 サラ・シムッカ／著 古市真由美／訳 993.61 シ

3 ものの見方

- ①『センスの哲学』 千葉雅也／著 文藝春秋 704
「センス」という言葉の意味を考えることから始まり、哲学者である著者がやさしく丁寧に解き明かしていく。「センスとは、ものごとをいろいろな要素のデコボコリズムとして楽しむことである」。もの見方が少し変わるかもしれない一冊。
- ②『うまくてダメな写真とヘタだけどいい写真』 幡野広志／著 ヨシタケシンスケ／イラスト ポプラ社 743
- ③『みたてのくみたて-見るだけでひらめくアイデアの本-』 田中達也／著 ダイアモンド社 740.21 タ

4 日常の愉しみ

- ①『日日是好日』 森下典子／著 飛鳥新社 791.04
お茶の稽古をとおして作者が感じた日常が優しい語り口で紹介されています。晴れの日、雨の日、曇りの日…何でもない日常を豊かにする愉しみ方を教えてくれるような気がします。毎日をこんな風に感じられたら素晴らしいなあと思いました。
- ②『細見綾子句集/手織』 石田郷子／編 ふらんす堂 911.36 村
- ③『幸田文季節の手帖』 幸田文／著 青木玉／編 平凡社 914.6 コ

5 タイムリープ

- ①『最後の夏は、きみが消えた世界』 九条蓮／著 スターツ出版 913.6 ク3
毎日を無気力に過ごしていた高校生の壮琉(たける)は、車にひかれそうになっていた少女・弥風(みなぎ)を助ける。初対面のはずの弥風は「本当に会えた…」と呟き、突然涙した。その後、時間を共に過ごすようになった弥風が、もう一度人生をやり直すかのように毎日を全力で生きる姿に、壮琉は心惹かれていくが…。
- ②『秋の牢獄』 恒川光太郎／著 角川書店 913.6 ツ6
- ③『時砂の王』 小川一水／著 早川書房 913.6 切

6 くつろぎのひと時

- ①『心と体に効くお香のある生活』 椎名まさえ／監修 日東書院本社 792
コロナ禍で外出が制限された頃からお香が人気になっていると話を聞きました。お香には様々な効果があるようです。心も体もゆっくりくつろぎたい時、お香を楽しんでみませんか？
- ②『日本茶レシピ』 本間節子／著 世界文化社 596.7
- ③『ハーブの癒し』 諏訪晴美／監修 翔泳社 617.6

7 ほっとする

- ①『東京ハイダウェイ』 古内一絵／著 集英社 913.6 7ル
「ハイダウェイ」とは「隠れ家」「人目につかない隠れ場所」という意味。真面目で手を抜くのが下手で不器用な人々が、自分だけのハイダウェイにめぐりあう物語。日々の暮らしの中で、ひと息つくコトやモノなど自分だけのお気に入りを見つけませんか。
- ②『朝おやつ』 甲斐みのり／著 mille books 596.65
- ③『THE LITTLE BOOK OF HYGGE 365日「シンプルな幸せ」の作り方』 マイク・ヴァイキング／著 アーヴィン香苗／訳 三笠書房 590

8 翻訳家を書いたエッセイが面白い

- ①『なんらかの事情』 岸本佐知子／著 筑摩書房 914.6 キ
エッセイは共感できないと面白味のないものです。翻訳家という職業柄、言葉選びが秀逸なのか、目の付けどころが違うのか？感心したり、クスッと笑えたり…。思いも寄らない展開に大爆笑です。
- ②『実母と義母』 村井理子／著 集英社 916.6
- ③『サラダ好きのライオン』 村上春樹／文 大橋歩／画 マガジンハウス 914.6 6

9 小中学校の学びなおし

- ①『昔と今とはこんなに違う社会科の教科書 歴史・地理編』 加藤好一／監修 水王舎 375.3
子どもの勉強をみていると、自分が学生時代に学んだ内容と変わっていたり、新たに加わっていたりすることがたくさんあります。変わったことを知らずに偉そうに教えてしまって教科書を見てびっくりすることも。これを機に学びなおしてみると、新たな発見があったり学生時代のいろいろな思い出がよみがえってきたりして、良い脳トレになっています。
- ②『解きたくなる数学』 佐藤雅彦ほか／著 岩波書店 410
- ③『こんなに変わった理科教科書』 左巻健男／著 筑摩書房 375.42

10 伏線回収!

- ①『玉依姫 八咫鳥シリーズ1-5』 阿部智里／著 文藝春秋 913.6 7ア
祖母が母を連れて飛び出した山内村を訪れた高校生の志帆は、恐ろしい村祭りの儀式に巻き込まれ、いつしか山神の母になる。荒山の神域を超え、人間界まで広がる八咫鳥の物語。八咫鳥と猿と山神の関係がいま、明らかに。
- ②『鹿の王 上・下』 上橋菜穂子／著 KADOKAWA 913 ㍑
- ③『白鳥異伝』 荻原規子／作 徳間書店 913.6 林7

11 丁寧な暮らし

- ①『すてきなあなたに』 大橋鎮子／編著 暮らしの手帖社 049
『暮らしの手帖』の社長兼編集者だった大橋鎮子さんの優しい語り口でつづられる珠玉のエッセイ集です。この本を読んでいると肩の力が抜けてほっとするので、私にとっては心の安定剤みたいな本です。
- ②『やさしさグルグル』 行正り香／著 文化出版局 914.6 1キ
- ③『家のしごと』 山本ふみこ／著 ミシマ社 590.4

12 普通が一番ええのんやでっ!

- ①『漁港の肉子ちゃん』 西加奈子／著 幻冬舎 913.6 ニシ
かの夏目漱石は、小説「虞美人草」の中で『愛嬌というのはね、自分より強いものを斃(たお)す柔かい武器だよ』と書いていますが、この物語の主人公「肉子ちゃん」は、意図せずにそれをやってのけています。不器用な肉子ちゃんは、日々生じる大小の感情をごく素直に受け止めているだけなのですが、それがとても良いのです。
- ②『あしたも、こはるびより。』 つばた英子ほか／著 主婦と生活社 590.4
- ③『れんげ荘』 群ようこ／[著] 角川春樹事務所 913.6 6

13 切手と封筒

- ①『切手デザイナーの仕事-日本郵便切手・葉書室より-』 間部香代／著 グラフィック社 693.8
郵便料金改定にともない、切手のデザインが新しくなりました。小さな画面に描かれた切手にはデザイナーの思いが込められています。集めるのもよし、大切な人に送るのもよし。ぜひ、身近な切手を見て、お気に入りを見つけてください。封筒アレンジの本もあわせてどうぞ。
- ②『切手もの知り図鑑』 内藤陽介／著 日本郵趣出版 693.8
- ③『封筒ギフトスタイル』 森珠美／著 日東書院本社 754.9

14 学園ミステリー

- ①『午後のチャイムが鳴るまでは』 阿津川辰海／著 実業之日本社 913.6 アカ
舞台は、高校の昼休み。教室でお弁当を広げる女子生徒や先輩を探して駆け回る2
人組など、校内のあちらこちらで小さな謎解きが始まります。午後のチャイムが鳴るまで
に解決することができるのか？5つの短編は独立したお話なのですが、ある共通点に気
がついた時の快感がたまらない1冊です。
- ②『本と鍵の季節』 米澤穂信／著 集英社 913.6 ヨネ
③『学園の魔王様と村人Aの事件簿』 織守きょうや／著 KADOKAWA 913.6 リカ

15 一度は見てみたい

- ①『死ぬまでに見たい!絶景の橋』 エクスナレッジ 515
大自然の中にある橋、最新の技術で作られている橋、竹や丸太などで作られている
古典的な橋など、世界にはとても美しい橋が数多くあります。
絶景の写真を眺めていると、一度は絶対にこの眼で見てみたいとなります。
- ②『死ぬまでに見たい!世界の美しい家』 エクスナレッジ 527
③『死ぬまでに見たい世界の超高層ビル』 ジュディス・デュプレ／著 牧尾晴喜／訳・監修 エクスナレッジ 526.9

16 働く犬

- ①『犬は知っている』 大倉崇裕／著 双葉社 913.6 材ク
主人公ゴールデン・レトリバーのピーポは小児科病棟に駐在しているファシリテイドック
です。ピーポには別病棟に入院する余命わずかの囚人に心を開かせ事件の秘密を聞き
出すという裏の任務があります。短編ミステリーなのでとても読みやすいです。
- ②『ワーキングドッグ』 福澤めぐみ／編著 緑書房 645.6
③『闇夜に吠ゆ』 大門剛明／著 文藝春秋 913.6 タイ

17 花を楽しもう

- ①『手軽に楽しむ毎日のフラワーアレンジ』 並木容子／著 日本文芸社 793
綺麗に花の手入れをしているお庭や、たくさんの花を並べてあるお花屋さんの前を通
ると、家の中にも少しでいいので花を置きたくなる場合があります。
お花屋さんにあるような花がたくさん掲載されているので本を見るだけでもワクワク
します。自分の好きな花をみつけてお花を飾ってみるのはいかがでしょうか。
- ②『バラと人気花のアレンジ』 長塩由実／[著] 世界文化社 793
③『ちいさな花言葉・花図鑑』 宇田川佳子／監修 ユーキャン学び出版 627

18 アドラー心理学

- ①『嫌われる勇気』 岸見一郎／著 古賀史健／著 ダイヤモンド社 146.1 キ
「嫌われる勇気」では、理想と気位が高い青年と、アドラー心理学を実践する哲人の
二人が生きる意味について語り合います。「嫌われる勇気」はベストセラーになり、三年
後に再び二人が語り合う、「幸せになる勇気」ができました。「老いる勇気」には二人は出
てきませんが、老いへの向き合い方が語られています。
- ②『幸せになる勇気』 岸見一郎／著 古賀史健／著 ダイヤモンド社 146.1 キ
③『老いる勇気』 岸見一郎／著 PHP 研究所 159.79 キ

19 世界

- ①『天才たちの日課』 メイソン・カーリー／著 金原瑞人／訳 石田文子／訳 フィルムアート社 702.8
天才たちはお手本にしたいような生活を送っていたのか？
単純な日課の連続。多忙過ぎてわけが分からなくなる生活。酒やクスリにおぼれた破
滅的な生涯。天才の素顔を知ると、「仕事」に対する考え方が変わるかも？
- ②『天才たちの日課 女性編』 メイソン・カーリー／著 金原瑞人／訳 石田文子／訳 フィルムアート社 702.8
③『やりなおし世界文学』 津村記久子／著 新潮社 904 ヴム

20 ナガラ防災

- ①『おしゃれ防災アイデア帖』 Misa／著 山と溪谷社 369.3
「防災って大切ってわかっているけど…」面倒に思ったり、続かなかったりしがちです
よね。でもちょっと視点をかえると…おしゃれと両立できて、お家も片付いちやうアイ
デアがあったら試してみたくありませんか？
おしゃれグッズをチェックするだけでも OK。パラパラするだけで防災スイッチ ON!

- ②『アウトドアで防災 BOOK』 ピークス 369.3
③『免疫カアップレンシ』 今泉マユ子／著 清流出版 369.3

21 傑作警察小説

- ①『可燃物』 米澤穂信／著 文藝春秋 913.6 ヨネ
捜査能力は卓越している現役警部を主人公に、連続放火事件を解決する表題作を
はじめ、群馬県警を舞台にした短編を集めた傑作警察小説集。主人公の鮮やかな推
理は読者を飽きさせず、事件の真実は読者を魅了する。
- ②『満願』 米澤穂信／著 新潮社 913.6 ヨネ
③『神南署安積班』 今野敏／著 角川春樹事務所 913.6 コソ

22 隙間時間に

- ①『1日10分のごほうび』 赤川次郎／著ほか 双葉社 913.68 イ
慌ただしい毎日でも本を楽しみたい。そんなあなたに10分間のご褒美タイムを。彼女
からの手紙の返事を代筆業に頼む「代筆」。亡くなった妻は椎茸だった?「妻が椎茸だ
ったころ」などが充実する作品がたくさん。コスパ抜群!隙間時間にぜひどうぞ!
- ②『3分で読める!コーヒープレイクに読む喫茶店の物語』 『このミステリーがすごい!』編集部／編 宝島社 913.68 サ
③『おとぎカンパニー』 田丸雅智／著 光文社 913.6 タル

23 本好きにおススメ!図書館の本

- ①『本バスめぐりん。』 大崎梢／著 東京創元社 913.6 材サ
移動図書館(通称:本バス)めぐりんは、司書のウメちゃんと65歳の新人運転手
ルさんと共に市内を巡回しています。読み終わった後にほっこりとした気持ちになれるハ
ートフルミステリ。もしかしたら三島市のジント号でもこんな人間ドラマがあるのかも!?
- ②『みさと町立図書館分館』 高森美由紀／著 産業編集センター 913.6 タタ
③『図書室のキリギリス』 竹内真／著 双葉社 913.6 タウ

24 余った材料活用法

- ①『余った毛糸で何つくる?』 ブティック社 594.3
捨ててしまうにはもったいなく思いつの間にかどんどん増えていく、ちょっとだけ余
った毛糸やハギレ。どう活用したものか…と悩んだ時に役立つ本です。
お気に入りの糸やハギレを無駄なく使いきるアイデア探しに、ぜひご活用ください。
- ②『ミシンでダダダ…!余ったハギレでなに作る?』 ブティック社 594
③『おうちのはぎれで作る実用小物60』 ブティック社 594

25 ちきりんの本

- ①『マーケット感覚を身につけよう』 ちきりん／著 ダイヤモンド社 336.75
世の中には素晴らしい価値を生みながらマーケットで評価されない商品やサービス
がたくさんあります。人材も同じで素晴らしい資質を持ちながら市場では評価されな
い人がいますよね。そういう人は「自分に足りないのはマーケット感覚だ」と気づかない
限りいつまでも報われません。「マーケット感覚って何?」答えは本編で。
- ②『自分のアタマで考えよう』 ちきりん／著 ダイヤモンド社 141.5
③『自分の意見で生きていこう』 ちきりん／著 ダイヤモンド社 159.7キ

26 ガラス、昭和、レトロ

- ①『思い出の昭和型板ガラス』 吉田智子ほか／著 小学館 751.5
この本を見た途端「昭和型板ガラス」として紹介されているレトロガラスが今でも大
好きなことに気がつきました。銀河・ちぐさ・らんまん・ロックラルなど、一つ一つに名前が
あることも、改めて知るととても新鮮で素敵に思えました。どんな板ガラスが気になりま
せんか?何か忘れていた思い出が浮かんでくるかもしれませんよ。
- ②『日本のガラス』 戸澤道夫／編 里文出版 751.5
③『美しい和のガラス』 大齊藤晴子ほか／[編]著 誠文堂新光社 751.5

27 街中で観察

- ①『ヘンな矢印標識』 山崎賀功／著・写真 自由国民社 514.29
街中で見慣れているありふれたもの、標識。そんな標識でもよく見れば変わったもの
が隠れているかもしれません。
著者の山崎さんは、三島市出身。標識に興味を持ったきっかけになったのは、三島市に
ある標識。もちろんこの標識も「原点であり頂点」と紹介されています。
- ②『ヘンな信号機』 丹羽拳士朗／著 イカロス出版 514.13
③『まちかどガードパイプ図鑑』 岡元大／著 創元社 514.29